

「新型コロナ特別定額給付金」と「アコーディオン」

篠崎 辰夫

コロナで職や収入を失って大変な思いをしている人達には申し訳ないが、この給付金は有難く受け取り有意義に使うことにした。早速、政府が薦める「オンライン申請」を行ったが、あらかじめ事前準備が必要でなかなか面倒だ。郵送方式の申請の方がいいかも知れない。

1. まず「マイナンバーカード」が必須。これがないと始まらない。
2. マイナンバーカードを読み込む「カードリーダー」が必要。
3. 「マイポータル」という専用アプリをインストールして、このサイトで申請する。
4. 振込先口座の確認書類（口座番号がわかる通帳の画像）をPCに保存する。
5. マイナンバーカード取得時の暗証番号（署名用電子証明書暗証番号）を準備。

これまで確定申告の「e-tax」でさんざんてこずったので、その経験からすんなり申請出来たものの、その後2週間以上過ぎても音沙汰なし。5月13日にオンライン申請したが、5月30日現在まだ振り込まれていない。どうも、入力ミスや本人確認のチェックに時間がかかるらしい。末端の現場では目詰まりして大混乱している。事務手続きに追われる自治体から国への不満が噴出しているようだ。そういえば「アベノマスク」もまだ届いていない。

さて、この給付金を何に使うか。コロナのために有効に使わねばならない。前向きに、コロナに負けない体力作り、健康作りのために使おうではないか。いろいろ考えた結果、「アコーディオン」を買うことにした。なんで「アコーディオン」なのか。これからの、老けない、呆けない、健康長寿のためになるだろう。外出自粛のいいツールで、感染予防や免疫力アップにもつながるだろう・・・と、勝手にこじつけた。

思えば、これまでいろいろな楽器に挑戦し楽しんできた。そこそこ上達したものもあるが、すぐに挫折したり、途中で飽きて投げ出したものも多い。それらを振りかえってみると、そこそこマスターしたもの・・・「ハーモニカ」「ギター」「エレキギター」「ピアノ」「キーボード」「ウインド・シンセサイザー（電子管楽器）」「大正琴」。あえなく挫折したもの・・・「フルート」「トランペット」「バイオリン」など。フルート、トランペットは、満足な音すら出なかった。バイオリンは3年間個人レッスンに通ったが、音階練習ばかりであきらめた。おそらくこのアコーディオンが最後の楽器となるだろう。

善は急げ。給付金の入金を待たずにネットで購入した。結局給付金より先に、アコーディオンの方が先に届いた。これでいいのだろうか・・・。

今年は80歳の節目、「新たなチャレンジ」をコロナが与えてくれた。さあこれから「80の手習い」が始まる。コロナなんかに負けちゃいけない。

(2020/05/30)